

がん専門修練医 コース	対象者	原則として以下のいずれかに該当する一定レベル以上の経験と実績を有する医師を対象とする ・当センターのレジデント修了者 ・日本精神神経学会精神科専門医を取得済みもしくは取得見込みで、コンサルテーション・リエゾン精神医学に関する臨床経験を有する ・上記と同等の能力を有する医師
	研修目標	・精神腫瘍学領域における高度な知識と技能を習得し、治療開発を行う ・臨床試験の事務局を担当する
	研修内容	2年間の研修期間のうち1年以上精神腫瘍科に在籍する ※6ヶ月までは中央病院交換研修等、東病院以外での研修が認められる
	研修の特色	精神腫瘍学における高度な診療技術の他、治療開発に関する経験と知識を獲得する事を目指したコースです
レジデント 3年コース	対象者	原則として以下の全ての条件を満たした医師を対象とする ・採用時に医師免許取得後3年目以降 ・日本精神神経学会専門医または認定医取得済みもしくは取得見込み
	研修目標	・専門医取得：一般病院連携（リエゾン）精神医学専門医 ・臨床：日本サイコオンコロジー学会認定登録精神腫瘍医 ・取得：がん領域におけるコンサルテーション・リエゾン精神医学領域における高度の知識・技能を習得する ・研究：コンサルテーション・リエゾン精神医学領域における臨床研究を経験し、国内外の関連学会等で発表する
	研修内容	研修期間のうち2年以上精神腫瘍科に在籍する ※緩和医療科等の希望診療科の研修可能 ※6ヶ月まで中央病院交流研修、精神科疾患の院外研修等東病院以外での研修が認められる
	研修の特色	精神腫瘍科研修で最も推奨されるコースです 精神腫瘍科の臨床・研究を幅広く経験し、今後の精神腫瘍学を牽引する人材を育成します
レジデント 2年コース	対象者	原則として以下の全ての条件を満たした医師を対象とする ・採用時に医師免許取得後3年目以降 ・日本精神神経学会専門医または認定医取得済みもしくは取得見込み
	研修目標	・専門医取得：一般病院連携（リエゾン）精神医学 ・専門医研究：コンサルテーション・リエゾン精神医学領域における臨床研究を経験し、国内外の関連学会等で発表する
	研修内容	研修期間のうち1年以上精神腫瘍科に在籍する ※緩和医療科等の希望診療科の研修可能 ※6ヶ月まで中央病院交流研修、精神科疾患の院外研修等東病院以外での研修が認められる
	研修の特色	精神腫瘍科の臨床・研究を幅広く経験し、今後の精神腫瘍学を牽引する人材を育成します

レジデント 短期コース	対象者	原則として以下の全ての条件を満たした医師を対象とする ・原則として基本領域専門医取得済みもしくは取得見込みの医師を対象とする ・現在がん診療に携わっている、又は今後がん診療に携わる予定の者 ・精神症状緩和に関する研修を希望する者
	研修目標	・がん患者・家族の精神症状緩和に関する基本的な診療経験を積むことを目標にしています
	研修内容	精神腫瘍科に、最短3カ月から最長1年の期間在籍します ※原則として3カ月単位とする ※全体の在籍期間が1年以内であれば、他の診療科（緩和医療科等）と組み合わせた研修も可能
	研修の特色	今後がん医療に携わる医師を対象に、がん患者・家族の精神症状緩和に関する基本的な診療を経験することを目標にしています。研究期間は、研修者のニーズに応じて柔軟に調整ができます
専攻医 コース	対象者	日本精神神経学会専門医取得のため研修中の専攻医を対象としたコースです 原則として以下の全ての条件を満たした医師を対象とする ・医師国家試験合格後3年目以降 ・日本精神神経学会専門医制度の連携施設として国立がん研究センター東病院を選択した専攻医
	研修目標	・短期間の研修で、精神科専門医に求められるコンサルテーション・リエゾン精神医学に関する診療経験を、がん領域を中心に積むことを目標としています
	研修内容	精神腫瘍科に、3ヶ月単位、最長2年間在籍します
	研修の特色	コンサルテーション・リエゾン精神医学に関する研修を積むコースです。がん専門施設である利点を活かして、がんに関連した精神医学的問題に関して集中的に研鑽を積むことができます。研修者のニーズにあわせて柔軟な研修期間設定が可能です